

第 2507 回例会

逗子ロータリークラブ Weekly Report

2013-2014 NO. 21 2013年 11月 28日

本日の進行 (12:30)
徳永 淳二 会員 「音楽で繋がる心、繋がるアジアの未来」
一次回のお知らせ
12月5日 (12:30)
年次総会・上半期報告
(役員・クラブ管理運営関係)

会 長◆石田 隆
会長I/O◆藤吉一哉
副会長◆村松邦彦
 ◆橋 克巳
幹 事◆岡本 久
S A A◆福嶋謙之輔
会 計◆市川 浩
直前会長◆岩瀬浩人
会報委員長◇宝子山泰久

例会日: 第 1・2・4 木曜日 12:30
 第 3 木曜日 18:30
 第 5 木曜日 18:00
例会場: 「カンティーナ」
 逗子市新宿 1-3-35
 TEL: 046-870-6440
事務所: 逗子市逗子 1-9-26
 萬屋ビル 2F
 TEL & FAX: 046-873-0226



E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: http://www.zushi-rc.com/

「Let's realize Rotary !!」

— 2506 回 例会記録

2013年 11月 21日 —



石田会長の時間

今日の例会は、例会場を葉山・海狼に移し相模原大野 RC との合同例会です。相模原大野 RC の創立は、1993 年、今年 20 周年を迎えられました。おめでとうございます。座間会長より創立時、当時ガバナーであった山本淳正氏に大変お世話になりチャーターナイトを葉山・海狼で開催したことから、創立 20 周年の記念として、山本 PG を偲んで逗子 RC と合同例会を思い出の地で開催したいとお誘いがあり本日の例会を実現することになりました。

今日は、ボジョレーヌーボ解禁日という事で、ソムリエでもある座間会長よりワインやお酒を沢山頂きました。

先日、地区青少年交換学生選考試験が行われました。当クラブ推薦の大橋菜々子さん(清泉女学院中学 3 年)は見事合格し、派遣先は希望していた台湾に決定いたしました。

今年度の選考試験は、この地区内から中学 3 年～高校 2 年の 27 名が応募しており、中学生が高校生と同じ土俵で学科試験を受けて何のハンデを貰うことなく上位に入る事は大変な状況でした。私の長女は、ROTEX として面接試験に英会話担当として同席し、また最終選考の場にも参加させて頂

て大変良い経験をさせて頂きました。

最終選考は、年齢は問わず学科と面接の合計点順位に上位から選ばれるという非情な仕組みになっていますが、大橋さんの願いが叶って嬉しく思います。合格した大橋さんは、12 月から地区青少年交換学生オリエンテーションに参加して来年 8 月の派遣まで研修して頂きます。近い内に例会に来てご挨拶して頂く予定です。

本日は、元ペルー特命全権大使 青木盛久様をお迎えしてペルー日本大使公邸占拠事件「その時大使は」と題して卓話をして頂きます。

報告: 台風被災地伊豆大島・フィリピンへの援助協力依頼
 クラブからの二つの被災地支援を、地区でまとめる。11/未迄



十一月のお祝い

ニコニコBOX 本日合計¥ 44,000 累計¥ 930,000

原泰一君(鎌倉中央)…おじゃま致します。

石田君…青木元大使ようこそ。卓話よろしくお願ひします。

相模原大野 RC 創立 20 周年おめでとうございます。合同例会よろしくお願ひします。

岡本君、矢部(光)君、松井君、矢部(房)君、三宅君、岩瀬君、草柳君…青木元大使、卓話よろしく、楽しみです。相模原大野 RC の皆様ようこそ。

橋(克)君、山科君、藤吉君、山本(三)さん、葉山君、松田君、匂坂君、宝子山君…相模原大野 RC の皆様ようこそ逗子へ。桐田君…湘南の地へようこそ。今夜は楽しんでください。

鈴木(安)君、船津君、服部君…青木元大使ようこそ。卓話よろしくお願ひします。

篤 君…ペルーのお話楽しみです。どうぞよろしく。

村松君…ペルーの事件、いまだに鮮明、楽しみです。

川上君…妙に多忙。

高洲さん…今年は流行先取りで風邪ひきました。久しぶりの例会になり、申し訳ございません。

山口君…村田さん、結婚おめでとうございます。

山本(由)君…結婚 42 年になりました。何となく生活しております。

田中君…結婚 12 年目、子供 6 人孫 5 人、ファミリー-拡大中です。

【出席報告】 会員数 48 名 (出席免除 6 名) 出席数 27 名: 出席率 62.80% 前回修正出席率 67.39%

【ビシター】 原 泰一君 (鎌倉中央)

卓話 「ペルー大使館人質事件—その時わたしは」

危機に直面した時こそ「楽観主義」が大切

青木盛久氏(元ペルー特命全権大使)



本日は体験的な危機管理論という形でお話をさせていただきます。

あの事件は、私が大使館で一番大きなレセプションを開催している最中に起こりました。その時の武装勢力は隣家の塀を爆破して侵入してきましたが、大使館の庭には1,000人近くの招待客で溢れておりました。

その後、国際赤十字の代表の仲介により、大使館の臨時使用人、ご年配の方、ご婦人方は解放されることになり、人質は450人になりました。

武装勢力は私の妻は人質として残すつもりだったが、咄嗟の判断で着物姿からTシャツ・ジーンズ姿に着替えた妻は、武装勢力に気づかれることなく解放されました。そして、国際赤十字の斡旋で妻から届いたいくつかの手紙で日本政府・ペルー政府がこの事態を非常に重視し、慎重な対応をとる姿勢であることを読み取ることが出来ました。

私は交渉が長期戦になることを確信し、残された数多くの人質の士気を何とか維持しながら、極限の環境の中でも元気に生きていくことを考えました。人質になった在留邦人の人達がトイレ掃除を願い出てくれたり、それぞれの部屋で拘束されている人質達が、困難な状況の中でも生活のリズムを

確立するための基本的なルールをつくってくれました。

126日間に及び拘留生活のなかで、人質間そして武装勢力との間でも様々な交流が生まれました。

毎朝の掃除や水の運搬を始め、スペイン語・フランス語・日本語などの語学教室を開催したり武装勢力も参加してのラジ体操も毎日行いました。妻が飽きないように工夫を凝らしたお弁当の差し入れも、たいへん励みになりました。

この事件でつくづく感じましたのは、危機の防止と危機管理は違うということです。危機の予防についてはありとあらゆる状態を想定してマニュアルを作ることが出来ますが、それでも危機は発生します。

危機管理とは、想定外の事態が起こった時、何をすべきか、ということです。起きてしまったときに大切なことは、一日一日を、希望を持って生きていくための「楽観主義」だと思います。私自身、危機が発生したときにパニックに陥らなかったのが良かったですし、妻のバックアップにも本当に助けられました。今では日本一の「尊妻家」「敬妻家」を自負しております。

今日も妻からはあまり飲みすぎないように言われてきましたが、実は一ヶ月半ほど禁酒をしておりましたので、これからの懇親会をたいへん楽しみにしております

担当：宝子山 泰久

合同例会 相模原大野RCの皆さま ようこそ逗子へ



相模原大野 RC の皆さん



ご挨拶される座間会長と奥様



両クラブのバナー交換

相模原大野 RC 座間会長のご挨拶

当クラブは今年設立21年目を迎えましたが、当時山本淳正バスターガバナーによってチャーターナイトが行われ、大いに感激致しました。開催にあたり何度か海狼を訪れまして、「なんて素敵なお店なんだろう」とたいへん感銘を受けました。私も21年前に相模大野でイタリアンのお店をオープン致しまして、飲食業の楽しさを実感致しました。

当クラブの会員数は現在16名です。うち出席免除者が2名、入院中が2名、チャーターメンバーは6名しかおりません。チャーターナイトを経験しているメンバーが少なくなってきた中で、新しく入会した40代の会員に「ぜひ素晴ら

しいクラブとご一緒に、チャーターナイトの再現を!」との想いから、逗子クラブ様との合同例会をお願いした次第です。今回の合同例会の開催に当たり、本来ならば私達が段取りをしなければならないところを石田会長様、岡本幹事様にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

当クラブは相模原ゴルフクラブで例会を開催しております。お食事もたいへん美味しいので相模原にお出かけの節にはぜひ当クラブ例会にもお立ち寄りください。本日は誠にありがとうございます。

相模原大野 RC 出席者：座間勇会長、永来昌也会員、
角尾彰央会員、小田宏美会員、小口伸夫会員
(同伴) 永来寿実加様、座間玲子様 萩原順子事務局